

コモンズ30ファンド コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式



渋澤と伊井の想い

こんにちは。渋澤健です。6月初旬、委員として参加している新しい資本主義実現会議において「グランドデザイン及び実行計画2023改訂版・成長戦略等のフォローアップ」の最終案を討議しました。

また同日の午前中に、金融庁のサステナブルファイナンス有識者会議にも参加したところ、出席されていた金融庁高官から「新しい資本主義で資産運用立国をやりますので、どうぞよろしくお願いします」とお声がけいただきました。

夕方の会議の前に改訂案に目を通すと、「我が国の家計金融資産2,000兆円のうち500兆円は、資産運用会社や年金等のアセットオーナーを経由して運用されており、その運用力の向上は家計へのリターンを高め、投資の拡大を促していくために不可欠である＜中略＞具体的には、資産運用会社やアセットオーナーのガバナンス改善・体制強化やスチュワードシップ活動（企業との対話）の実質化」と金融庁が示した基本方針が明記されていました。

行間から「顧客本位」を運用会社に促している金融庁の意気込みが読み取れます。具体的な政策プランは年内にまとめて国内外に発信するとのことで、実現会議では本件について「特に注目している」と発言しました。

「グランドデザイン及び実行計画2023改訂版・成長戦略等のフォローアップ」が閣議決定されたのは6月16日。その数日前、朋友の中野晴啓会長（当時）がセゾン投信から解任されたという衝撃的なニュースが流れていました。その理由は親会社との経営方針の食い違いとのことでした。

金融庁が政府の骨太方針として宣言した「運用立国」と同じタイミングでの出来事であり、真の「顧客本位」とは何かと色々考えさせられました。

明らかな結論の一つに運用会社の顧客本位を貫くための資本の重要性があります。中野さんほどピュアに直販・積立の長期投資を通じて顧客本位を表現している金融プロはいない、と長年尊敬していました。

ただただ、残念でなりません。

そういう意味ではコモンズ投信株式会社の資本は一部の大企業や株主から支配されておらず、コモンズらしい「顧客本位」を設立来から支えていると実感しています。

そのコモンズらしい「顧客本位」とは何か。最近その一コマはお仲間（お客さま）の「てっさん」の投稿記事が示してくださいました。

（投稿記事はこちら：<https://tinyurl.com/242nsefk>）

資本と顧客の質に恵まれているから本位を実践できている。
とてもありがたいことです。



取締役会長 渋澤 健

コモンズ30ファンド

■格付投資情報センター「R&I ファンド大賞 2023」
投資信託10年／国内株式コア カテゴリー 優秀ファンド賞
2年連続受賞！





基準価額の推移

2009年1月19日 ～ 2023年6月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により通減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%（消費税込）です。



運用実績

2009年1月19日 ～ 2023年6月30日

基準価額

46,132 円

(前月末比)

+3,364 円 (7.87%)

純資産総額

492.9 億円

(前月末比)

+42.4億円 (9.42%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	7.87%
3ヵ月	15.78%
6ヵ月	28.84%
1年	30.61%
3年	64.79%
5年	58.58%
10年	180.55%
設定来	403.60%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2019年1月	0円
2020年1月	250円
2021年1月	300円
2022年1月	0円
2023年1月	0円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	90.0%
その他	10.0%

未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	13.8%
ウェルネス	13.6%
生活ソリューション	12.3%
資源・エネルギー	11.3%
新素材	9.2%
快適空間	8.9%
地球開発	6.3%
未来移動体	6.1%
ライフサイクル	5.1%
社会インフラ	3.4%
その他	10.0%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに	4.4%
2 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.2%
3 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.0%
4 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.9%
5 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.7%
6 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	3.5%
7 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	3.5%
8 デンソー	未来移動体	モビリティ社会で価値を創造し続ける	3.5%
9 コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.4%
10 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	3.4%

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

6月のファンドの月間リターンは+7.87%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

6月の内外株式市場は、米国で債務上限停止法案の可決やFOMC（米連邦公開市場委員会）、中国の金融緩和などのイベントを乗り越え強い展開が続きました。国内株式市場も海外投資家の買いが継続し、日経平均株価は5月に続いて月間で2,000円を超える上昇となり、33年ぶりとなる33,000円の高値まで上昇してきました。日銀が金融政策決定会合で金融緩和継続を決めたこともあり、ドル円相場は一時145円を超えるドル高円安となり、株式相場を押し上げました。

当ファンドは、月間で+7.87%の上昇、投資先30銘柄中29銘柄が値上がり、1銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+7.55%の上昇、日経平均株価も+7.45%の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、90.0%と前月比▲1.1%の低下となりました。個別銘柄の月間騰落率では三菱商事+24.06%、丸紅+22.49%、コマツ+17.89%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、楽天G▲13.37%、エムスリー+0.03%、ユニ・チャーム+0.60%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は9銘柄、年初来高値を更新した銘柄は23銘柄ありました。

当面の株式市場は、これまでの急上昇からの短期的な調整もあると思いますが、海外投資家による日本株の見直し買いは続くと考えています。6月の株主総会を経て、7月後半からは4～6月期の決算発表が始まります。また、昨年度分の有価証券報告書の開示も始まり、人的資本やサステナビリティに関する開示が充実し始めました。こうした非財務情報をベースにした対話にも注力して参ります。引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎新NISA一億総株主時代の幕開け～長期投資でつくる私たちの未来～

わたしたちコモンズ投信の新NISAに対するスタンスと取組みについてのメッセージをまとめました。新NISAが「誰もが当たり前資産形成を行う時代」を大きく後押しするものと考え、その中で私たちは資産形成のその先にあるお仲間一人ひとりの幸せの実現に寄り添える存在でありたいと思っています。今後のコモンズ投信に、ぜひご期待ください。

<https://www.common30.jp/customer/1599/>

◆2023年6月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/JxMWmPPj90Q>

2023年6月次運用報告動画



投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (4523) エーザイ

エーザイと米バイオジェン社が共同開発しているアルツハイマー病治療薬「レカネマブ」の米国での審査完了期日は7月6日（日本時間7月7日）です。これまでの経緯から、**今回の承認可能性はかなり高まっている**と考えられます。そこで今回は、仮に承認となった後の、治療薬普及拡大に向けた課題となる「A β （アミロイド・ベータ）検査の診断」について確認します。

認知症対象患者の確定診断は、現状、脳機能PET（陽電子放出断層撮影）検査とCSF検査（脳脊髄液を調べる検査）の2種類で行われています。PET検査、CSF検査ともに保険が適用されていないので、1検査当たりの費用は数万円から数十万円とやや高額で、治療薬の普及拡大を妨げる要因となりそうです。将来的には（数年後？）、確定診断に簡便かつ安価での検査が可能である血液検査が用いられることが期待されています。

「レカネマブ」の普及拡大には確定診断検査の保険適用開始による低価格化や、確定診断に血液検査が認められることなどが実現していくことが不可欠であると言えます。より早く、より多くの認知症患者に治療薬が提供されることを祈念しつつ、それぞれの進捗状況を丁寧に確認して参ります。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (3382) セブン&アイHD

セブン&アイHDは、株主総会（5月25日）が終了し、**「食」の強みを軸とした国内および北米などのコンビニエンスストア事業の成長戦略や、構造改革路線がより鮮明になってくる段階に入っています。**

構造改革については、今年3月にグループ戦略再評価結果を公表、イトーヨーカ堂を中心とするスーパースタ事業において、今後3年の時間軸で構造改革を推進する計画です。

スーパースタ事業では、自社が運営するアパレル事業からの完全撤退、首都圏へのフォーカスと追加の店舗閉鎖、首都圏事業の統合再編、などを実施する見込みです。

なお、23年2月期通期営業利益（全社費用消去前）をセグメント別構成比で見ると、国内コンビニエンス事業が40%、海外コンビニエンス事業が50%と利益の大半を占めます。続いて、金融関連事業の構成比が6%。スーパースタ事業は収益力が低く、構成比で2%となっています。

シニア・アナリスト 上野 武昭

■ (9064) ヤマトホールディングス

ヤマトホールディングスとその傘下のヤマト運輸は、**メール便サービスの「クロネコDM便」と、小型薄物荷物配送サービスの「ネコポス」のサービス提供を順次終了し、日本郵便の配送網を活用した新サービスを展開することを発表しました。**

この背景には「物流の2024年問題（詳細はザ・2020ビジョン2021年12月運用レポートの「未来予想図」、及び当社ホームページの「コモンズ考」内コンテンツを参照ください）」による人材不足の懸念と、その対策として物流ネットワークを効率化したい思惑があることは明らかですが、この施策だけで業界全体が抱える課題がすべて解決するわけではありません。

特に、都市間の幹線輸送のネットワークに関しては、現状の延長線上では課題解決は難しく、さまざまなテクノロジーも駆使した抜本的な再構築が必要になると考えていますので、業界のリーダーとしてのヤマトグループの取り組みには今後も引き続き注目していきたいと考えています。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介



コモンズ30塾 デンソー継承館&ギャラリー訪問

6/29（木）、愛知県・刈谷市に本社を置く株式会社デンソーにて、コモンズ30塾企業との対話を開催しました。

デンソーは、1949年にトヨタ自動車の電装部門が独立し創業した、世界的トップの自動車部品メーカーです。今回は、デンソーの過去・現在・未来を辿る「デンソーギャラリー」と「継承館」にお仲間（お客さま）のみなさまとお伺いしてきました。



デンソーギャラリーの様子

○デンソーギャラリー

広い展示ホールでは、「環境」「安全」「快適」「利便」「生活・産業」のテーマごとに、デンソーの製品とそれらに込められた想いに触れることができました。

まずご案内いただいた「デンソーシアター」では、180度に広がる大きなスクリーンに世界で働く社員さんが映し出され、彼らが仕事で大切にしていること（コア）を語ってくれました。近未来的な空間で、インタラクティブ（双方向対話式）を大切にする企業文化を体感しました。

そして、実は、今となっては私たちのスマホ生活に欠かせないものとなっているQR（QuickResponse）コードは、1994年にデンソーが開発したものなのです。実際にキーワードを入力し、コードを作成してみました。

みなさんから注目が集まったのは、その権利やロイヤリティをデンソーが放棄しているという点。利益よりも世界の発展を追求した結果と担当者の方から説明をいただきましたが、ここにもデンソーらしさを感じることができました。

○継承館

本社内にある「継承館」は、社員が企業文化の継承や安全の原点に立ち返り、自分事として考えるための場所として、2021年に本社内に設立されました。「品質と安全のデンソー」を掲げるに至った経緯を、「デミング賞への挑戦」「安城工場爆発事故」「先人たちの経験」などの歴史を振り返りながらご紹介いただきました。なぜ？なぜ？繰り返し原因を追究する姿勢や、Plan・Planする（計画を大事にする）企業文化は、過去から繋がれたDNAといえます。

○対話タイム

対話タイムでは、デンソーの独自技術や企業文化についての質問が飛び交いました。

Q：自動運転化の競争が進むなかで、どう安全を保っていくか

A：何よりも品質と安全を最優先に考えている。中途半端な製品は世に出さず、それを理解してくれるユーザーへ届けるというスタンス。

Q：世界各国で事業を展開するにあたり、技術や企業文化の伝承はどのように行っているのか？

A：技術道場を展開することで、言葉や価値観の違う地域でも共通に社員が育つ仕組みづくりをしている、など。

最後に、伊井より「長期で投資するためには、外部環境の変化をいかに乗り越えていく力があるかを知ることが重要。デンソーさんの歴史を探究できる良い機会を提供していただいたこと、そして、その機会をお客さまとご一緒できたことを何より嬉しく思います。」とご挨拶をし、今回のコモンズ30塾は無事終了いたしました。



シニア・アナリスト上野がQRコード作成体験



「継承館」社是の前で記念撮影

マーケティング部 森田 菜月



コモンズSEEDCapからのお知らせ

【コモンズSEEDCap第14回応援先NPO法人えんがお 濱野さんからの今月のお知らせ】

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら

→ <http://www.common30.jp/fund30/seed>

◇えんがおについてはこちら

→ <https://www.engawa-smile.org/>

先日、濱野さんが以前より実現したいとおっしゃっていた「居場所作り」に取り組む全国の活動家たちを繋げるためのイベント「ごちゃまぜサミット」のキックオフが開催されました。

北海道、群馬県、山梨県、広島県ですでに活動を開始されているリーダーたちが登壇し、手法や経営の中身までがそれぞれの経験と共に参加者に共有されました。



以下は主催された濱野さんのコメントです。

「参加費1000円のイベントにも関わらず申し込み者は120人以上いました。

何より凄いと思ったのは、全国にはこんなにもたくさん、いろんな人の『居場所』や『つながり』を作りたいと思っている人がいるということ。

僕はその熱量に触れて、素直に『日本、大丈夫かも』と思いました。

これだけの人が、孤独・孤立に苦しむ人たちを救いたいと思っている。

これからは、そういう人たちをつなげて互いに加速し合うような仕組みを作れたら、もっともっと日本の至る所で、孤独や孤立から人を守る活動が増えるはず。

120人の参加者の方々と、一緒にやってくれた仲間たちのおかげで、また新しいワクワクに出会えました。」

関心のある方はぜひこちらのグループにご参加ください。

<https://www.facebook.com/groups/800350008038237/>

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

こどもトラストセミナー | アルミでかなえる、軽やかな世界 を見に行こう！～ザ・2020ビジョン投資先企業「株式会社UACJ」名古屋製造所・R&Dセンター見学ツアー～

想像を上回る多くの方々が準備&対応にあたってくださったことが感じられた。また実際の製造工程を設備と共に見学させていただき、その迫力に感銘を受けました。また、我々の日常生活で目にすることも多いアルミ缶の原材料が製造される様は圧巻でした。UACJの皆様の尽力によって我々の日常生活の便利や安心等が支えられていることを実感しました。また、少数である我々のような個人投資家の見学を受け入れてくださったことに感謝申し上げます。今後はアルミ製品を目にするたびに、UACJの皆様のことを思い出し、大切に使用させていただいた後はリサイクルにも努めようと思いました。

このような見学ツアーを実現していただいたことに感謝申し上げます。今後も同様な趣旨のイベントがあれば是非出席させていただきたいと思いました。同席くださった皆様に感謝申し上げます。(50代・男性)

こどもトラストセミナー meからweへのおかねの教室 (小学校低学年対象)

隣で聞いていて、内容が興味深かったこと。また子どもがセミナー直後と寝る前に、今日楽しかったことBES T3の一つに挙げていましたので。「お金をどう使うのか考えるのが楽しかった」と子どもが感想を申し{o}りました。こういった機会は初めてだったので、今回の経験が日常生活にどう反映されて行くのか楽しみです。また、子どもが意外な答えをしていたのも、そんなこと考えてたんだ！？と新しい発見になり面白かったです。(小学校3年生の保護者さま)

新NISAの活用方法

ロールオーバーができなくなることを知らなかったので、教えてもらえて良かった。また、現行NISAも非課税期間は併用出来ると知って安心した。分かりやすくハキハキと解説していただけたので、理解しやすかった。(50代・女性)

コモンズの視点～企業のみカタ～ デンソーのご紹介

説明が丁寧でデンソーのことがよくわかった。話すトーンが落ち着いていてよかった。(50代・女性)

コモンズ30塾企業との対話 デンソーの”過去・現在・未来”を知る 「デンソー継承館&ギャラリー」訪問

生まれも育ちも刈谷ですが、初めて敷地内に足を踏み入れることが出来ました。そして特に継承館を見せて頂いたことは自分の社会人人生においても大変貴重な機会となりました。

私は刈谷(付近)にあるメーカーを引き継いだ者の1人ですが、会社の理念には品質至上を掲げております。継承館を拝見させて頂いておこがましいですが、品質への想いや苦難の歴史、労使問題など、同じような時期には同じような問題を抱えていたのでだなと思いました。歴史を振り返り、先人達が残そう、伝えようとしたことはなにか、自分達が大事にすることは何か、伝えて考えさせる姿勢に共感を覚えました。またカリスマ的な方ではなく、現場の社員の方々の言葉を多く取り上げる姿勢に、社員1人1人が主体的に仕事に向かう風土があるのだなと思いました。また死亡事故を隠したり忘れたりすることなく、しっかり後世に伝えて繰り返さないようにする姿勢に感銘を受けました。普段は車通勤しておりますが、エアコンなどデンソーさんの技術に支えられて快適なドライブをさせて頂いているのが、よくわかりました。普段意識していなかったことなので、よい気付きとなりました。またシアターでは有馬会長から現場の方まで分け隔てなく声を取り上げており、社員1人1人をレスペクトしている会社だなと思いました。(50代・男性)

デンソーさんの原点、企業文化や進化の歴史を知ることができて、デンソーさんに対する理解が深まった。まずこのような施設を建設し、実際に多くの社員さんがここを訪れている事実拍手を贈りたいと思います。海外の社員さんも含めすべての社員さんがここを訪れることができると良いと思います。また、社外に対しても公開することも価値あることだと感じました。

さまざまな技術や取組を知ることができてよかった。特に多くの社員さんが「私の価値」を自分の言葉で発信する取り組みは、デンソーの企業文化がよく分かる取り組みとしてよいと思います。(50代・男性)

時間をかけてギャラリー、継承館と案内してもらいました。デンソー社員さんの対応もとても良かったです。業務上災害の詳細を、後の教訓の為に展示がありました。他社でも同じような展示を見たことがあります。災害をきっかけに会社独自の安全規格を作成するとは…すごいとしか言えません！社員さんのコアメッセージ、ぐっときました。QRコードで名刺作成が面白かったです デンソーさんが、沢山の車内の技術に関わっていたことが分かりました。(50代・女性)



お知らせ

Pick Up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

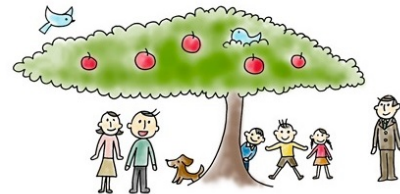
<https://www.common30.jp/seminar/>

◆2023年6月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/JxMWmPPj90Q>

□フィットする暮らし、つくろう。
クラシコム青木社長との対話

7月26日（水）19:00～20:30



・クラシコム青木社長



photo:斎藤さだむ

□住宅遺産のための作戦会議
～伊藤邸（旧園田高弘邸にて）～

7月29日（土）14:00～17:00

□コモンズのファンドの特徴を比べてみよう！

7月10日（月）20:00～20:30

□コモンズ投信運用報告会

7月17日（祝・月）20:00～21:15

□ゼロからわかる新NISAの活用方法

7月20日（木）20:00～20:30

□こどもトラストセミナーおかねの教室（小学生対象）

「おかねの4つの使い方～つかう・ためる・ふやす・ゆずる～」

7月21日（金）10:00～10:45

□コモンズの視点 ～企業のみカタ～

セブン&アイホールディングスのご紹介

7月24日（月）20:00～20:30

□こどもトラストセミナー | 子どもでもできる家事で、明日の暮らしを快適に！ー学んで、作って、おいしい時間ー

～コモンズ30ファンド投資先企業「リンナイ株式会社」ほっとラボ横浜体験ツアー～

8月5日（土）10:30～12:30

□こどもトラストセミナーで【セブン&アイ】を体験しよう！2023

8月20日（日）10:00～14:00

☆アーカイブ動画を[YouTube「COMMONSTV」](#)にて配信しております。

ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆

・「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関 北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
静銀ティール証券株式会社※2	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関 九州財務支局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十八親和銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務支局長 (登金) 第10号	○	○		
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
野村證券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○	○

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商) 第5号	○			○
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
PayPay銀行株式会社※1	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者	四国財務局長 (金商) 第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長 (登金) 第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第1号	○	○		
LINE証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第41号	○			
SMB C日興証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※2	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第3号	○	○		
OKB証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第191号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)※1	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3283号	○		○	○
東海東京証券株式会社 ※1	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○
スルガ銀行株式会社 ※1	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第8号	○			
九州FG証券株式会社 ※1	金融商品取引業者	九州財務局長 (金商) 第18号	○			
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社) ※1	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第3号	○			
株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社) ※1	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第2号	○			

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク

当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

為替変動およびカントリーリスク

外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98 %) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2009年1月19日
	信託期間	無期限 (ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>